

## “住環協” 総エネルギー消費の評価 “総合 A” 併記 ☆と国の省エネルギー対策等級★、及び “エネパス協” との一覧

(一社) “住環協” 総消費エネルギー評価 “総合 A” の併記 “☆”				
国の省エネルギー対策等級 2～5 等級の仕様に対応する実測の総消費エネルギー数値 *				
☆ 9	37.5	kWh/m <sup>2</sup>	総合 (37.5kWh/m <sup>2</sup> )	Passive house level
☆ 8	37.5～52.5	kWh/m <sup>2</sup>	総合 A <sup>++</sup>	
☆ 7	52.5～85	kWh/m <sup>2</sup>	総合 A <sup>+</sup>	
☆ 6	85～125	kWh/m <sup>2</sup>	総合 A	“エネパス協” S <sup>+</sup> 相当 **
☆ 5	120～170	kWh/m <sup>2</sup>	2020 年省エネ基準義務化仕様 省エネルギー対策等級 5	“エネパス協” S 相当
☆ 4	170～270	kWh/m <sup>2</sup>	次世代省エネルギー仕様 等級 4	“エネパス協” A 相当
☆ 3	270～320	kWh/m <sup>2</sup>	新省エネルギー仕様 等級 3	“エネパス協” B 相当
☆ 2	320 以下	kWh/m <sup>2</sup>	省エネルギー仕様 等級 2	“エネパス協” C 相当

この数値は長野 (Ⅲ地区 (旧 6 区分)) での暖冷房、換気、給湯、照明、家電の総消費目安です。

\* “住環協” の “総合 A” の併記 “☆” は、国の対策等級 2 から 5 仕様 “★” 表示とは別の独自の表示です。

\*\* 長野県の地球温暖化対策条例により来年 2015 年から新築の確認申請には省エネ対策、自然エネルギー活用について検討することが義務づけられます。CASBEE、Qpex など計算 soft のほか (一社) “エネパス協” の燃費性能 soft 等が推奨されています。いずれも計算値で、かつ暖冷房、換気、給湯、照明の総和を消費エネルギー kWh/m<sup>2</sup> で算出します。一方、“住環協” は、実測値に基づく消費エネルギー kWh/m<sup>2</sup> ですので家電消費も含まれます。国の研究機関の建築研究所では、統計 data の一次エネルギー換算家電消費量を 33.4GJ/世帯 (2008 年度) 程度とみています (約 34kWh/m<sup>2</sup>換算)。“住環協” は、その後の消費節約意識も考慮して 20kWh/m<sup>2</sup>を “エネパス協” の算出値に加算した値を “エネパス協” ・相当としています。

